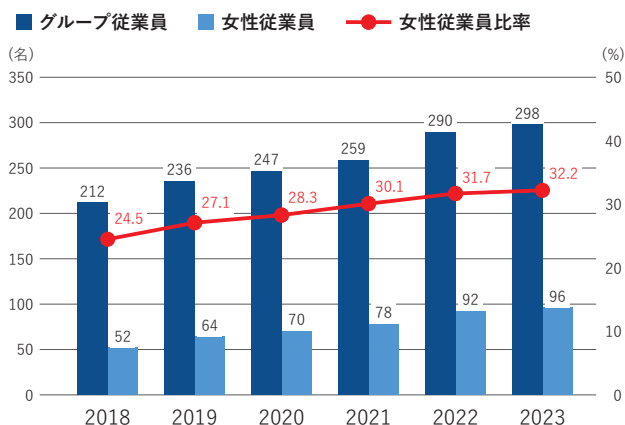


## 人材の多様性向上に取り組み、企業価値のさらなる向上を図ります

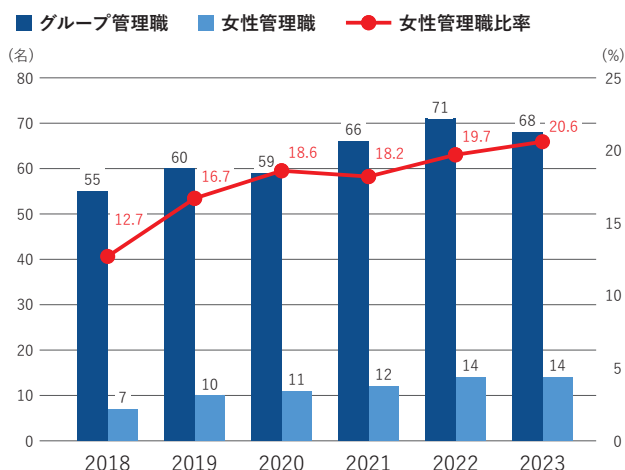
当社グループでは、企業価値の継続的な向上の実現のため、人材戦略と経営指標の相関に関する分析\*を実施しています。その結果として、女性従業員比率と企業価値(PBR)の間に、統計的に有意な相関関係があることが分かりました。当社ではこの事実を重要であると考え、今後は女性従業員比率を40%へ、女性管理職比率を30%への引き上げを目指します。

その達成に向けては、社内の意識改善施策、キャリア形成支援、労働環境改善(残業時間の抑制、突発的な休暇発生時のバックアップ体制の構築等)に取り組みます。また、2023年には取締役会のコミットメントを得て、女性活躍推進のための分科会を設立しました。コンサルティングの源泉である人的資本の多様性の維持・向上のため、さらなる施策を展開していきます。

### ●グループ従業員数及び女性従業員比率



### ●グループ管理職数及び女性管理職比率



### 知見と経験を活かし 健康経営の実現に取り組む

社外取締役

森 まどか Madoka Mori



私は医療ジャーナリスト/キャスターとして、社会を構成する個人の幸福は心身の健康によって成り立つものと考え、「よく生きる(Well-being)」ために欠かせないヘルスリテラシーの向上に尽くしてまいりました。「財・体・心の充実」を掲げて成長を目指す当社のビジョンと重なる思いであり、その親和性から社外取締役に就任いたしました。

職場における個人の健康問題は周囲へ与える影響が大きく、その解決が全体の働きやすさにつながると考えます。とりわけ女性の健康課題はパフォーマンスやキャリアを左右することも多く、対策が急がれます。

心身の健康と成長の好循環に貢献できるよう、医療ジャーナリストとしての知見と、ライフイベントや健康課題を乗り越えキャリアを継続してきた自らの経験を活かし、真摯に取り組んでまいります。

### 社会の変化、働き方の変化、 多様性の大切さ

執行役員 不動産事業本部  
地域創生プロジェクト事業部長

宮上 正子 Masako Miyagami



1つとして同じものがなく、毎回新しい発見があるのが不動産ビジネスの醍醐味です。お客様の不動産を通じてより深い学びを得られるのではないかと、2003年に入社しました。

入社以来、社会の変化とともに働き方も変わりました。例えば、テレワークの普及によって、仕事と子育ての両立はしやすくなりました。性別や年齢に関係なく、それぞれの事情に応じて働くことができる。そんな方向に、日本社会は技術を活用して着実に前進してきました。

当社もそうした社会の変化に合わせて歩を進め、多様性は確実に高まっています。さまざまなバックグラウンドを持つ社員が知恵を集め、物事やお客様の課題解決について考えられるのは素晴らしいことです。

今後は経営の一翼を担う執行役員として、より広い視点から会社の成長に貢献したいと考えています。